

## 第15回八幡湿原自然再生協議会議事録（要旨）

- 1 日 時** 平成20年11月8日(土) 13:15～15:10
- 2 場 所** 山県郡北広島町西八幡原 八幡高原センター
- 3 出席委員** 委員総数31名中20名出席
- 4 議 事**
- 1 開会
  - 2 議題
    - (1) 報告事項
      - ① 地元説明会について
      - ② 自然再生協議会情報連絡会議（西日本）について
    - (2) 協議事項
      - ① 八幡湿原自然再生工事について
      - ② 八幡湿原自然再生協議会ホームページについて
      - ③ 案内標識の設置等について
      - ④ 部会の新設について
      - ⑤ 本の出版について
      - ⑥ 今後の維持・管理体制について
      - ⑦ その他
  - 3 その他
- 5 担当部署** 広島県環境県民局環境部自然環境課  
電話：(082)513-2931(ダイヤルイン)  
広島県芸北地域事務所農林局林務第一課自然保護係(事務局)  
電話：(082)814-3181(内線445～447)

## 6 会議の内容

### ○開会あいさつ（会長）

- ・ 午前に行った部会での協議結果により、コンパクトに議論を進めていきたい。皆様の御協力をお願いしたい。

### ○議題

#### (1) 報告事項

##### ① 地元説明会について（事務局報告）

- ・ 10月29日に、地元住民を対象とした説明会を実施した。
- ・ 平成19年度～平成21年度の工事内容の説明を事務局より、事業地内で確認された絶滅危惧種についての紹介を白川委員より行った。
- ・ 今後の維持管理についてどのように考えているのかという質問があり、今後の協議のなかで、協議会として具体的に何ができるかを明確にしていく旨を伝えた。
- ・ 公園内の動植物の盗掘対策について質問があり、県の工事として公園内での動植物

の採取を禁止する旨を明記した看板を設置すること、また北広島町において、野生生物保護に関する条例を制定する動きがあることを伝えた。

- ・ 高原の自然館前のトイレが冬季閉鎖中に、周辺に汚物が散乱するので対策をとって欲しいという要望が出された。

## ②自然再生協議会情報連絡会議（西日本）について（事務局報告）

- ・ 11月5日、6日に、環境省、農林水産省、国交省主催の自然再生協議会情報連絡会議が開催された。
- ・ 11月5日には、霧ヶ谷湿原（八幡湿原自然再生事業地）において、現地視察を行った。
- ・ 11月6日の情報連絡会議では全国的な自然再生事業の動向が報告され、各地の取り組みや課題が議論された。

## (2)協議事項

### ①八幡湿原自然再生工事について（野村幹事より整備部会検討結果について報告）

- ・ 管理歩道については今回示された案をベースにして、ルート選定の根拠等について詰めていき、コストの面と合わせてさらに検討を進めていくこととした。
- ・ 事業地の最下流部のえん堤については、今年度行っている土砂流出モニタリング結果等を踏まえた上で、大規模なえん堤は不要と考えられるが、既設の三面張り水路との接続部分に擦り付けのための床固工を設置する案が事務局から提案され、構造について合意した。

#### 【承認事項】

- ・ 八幡湿原自然再生工事については原案どおり承認され、管理歩道の詳細な構造等については、さらに検討を進めていくこととした。

### ②八幡湿原自然再生協議会ホームページについて（白川幹事より普及部会検討結果について報告）

- ・ 今後のホームページの更新について、協議会委員名簿、議事録、ニュースレター及び八幡湿原自然再生事業の実施状況等の情報について、広島県自然環境課で定期的に更新を行うこととする。
- ・ イベント等のタイムリーな情報については、高原の自然館やカキツバタの里づくり、芸北観光協会等のホームページへのリンクを設置することとする。
- ・ 広島県自然環境課で更新の難しい情報（生物関係等）については、各委員へ情報提供を依頼することとする。

#### 【承認事項】

- ・ 八幡湿原自然再生協議会ホームページについては、原案どおり承認された。

**【質疑応答】**

(委員) 定期的な更新とは具体的にどのくらいか。

(委員) 協議会と毎月1回のニュースレターが現在のところ定期的なものとなる。

**【会長意見】**

(会長) 写真の提供を受ける場合のコピーライトについて確認をしておくこと。

**③案内標識の設置等について（白川幹事より普及部会検討結果について報告）**

- ・ 標識の設置箇所については事務局に案を提示してもらうこととした。
- ・ 必要な看板の種類としては、基本的な公園利用のマナーについての看板、湿原への踏み込みを抑制するような看板、全体の説明と工事の内容を示した看板、車の駐車に関する看板などが挙げられた。
- ・ 文字で表現するよりも、ピクトグラムのような視覚的に分かりやすいものにしてはどうか。
- ・ 季節によって内容を入れ替えられるものがよいのではないか。
- ・ 木道に転倒防止などの注意を促すような掲示が必要と考えられる。また構造的にも滑りにくいような工夫をして欲しい。
- ・ 町道沿いに駐車する車が増えると予想されることから、駐車場の確保や道路に車を止めにくい構造を考えてほしい。

**【承認事項】**

- ・ 各種案内標識を設置することが承認され、その内容については普及部会及び事務局において検討を進めていくこととした。

**④部会の新設について（会長より説明）**

**【承認事項】**

- ・ 資金の獲得を目的とした「財政部会（仮称）」の設立が会長より提案され、これが承認された。仮の部会長を岡本委員とし、後日、正式な部会長を選出することとした。

**【会長意見及び質疑応答】**

(会長) 部会の新設とともに、西中国山地自然史研究会がNPO法人として協議会とリンクし、資金の受け皿となることを提案したい。財源となる可能性のあるものとして、北広島町ふるさと納税という仕組みがある。また、この部会は資金の確保のみを目的としている。実際の維持・管理に係る費用の積算等については、整備部会で検討していただく。

(委員) 現メンバーではこのハードルが高い話を進めていくことは困難である。地元商工会や観光課の方々をメンバーに加えることを提案したい。

(会長) メンバーの追加案については、賛成である。この部会に関しては、オブザー

バーもしくはアドバイザー委員といった協賛委員をつくってみてはどうかと考える。私も委員に指名していただきたいと考えている。

(委員) 部会をつくることについては賛成だが、地元メリットの問題について誰がメリットを受けるのかを整理しないまま、資金を獲得してくることは少し危険ではないか。地元に対してメリットを押し付けるような形にしてはいけない。

(委員) 現在はまだ、地元住民がこのメリットを最大限に享受する立場にはなっていないが、今後、湿原、観光地を生活の糧にしていく人が1人でも2人でも現れてくるように協議会で見守っていただきたい。まずは、この事業が大筋に乗るための手腕を発揮していただきたい。

(委員) 資金を集める部会をつくっていただき、その資金を元手に、我々地元住民が湿原再生、環境保全のお手伝いができればと思う。

(委員) 地元住民の反応が出るまで、もうしばらく協議会メンバーが取り組みを進めていかなければならないと思う。

(委員) 先ほど地元委員の方々より、湿原再生を推進していくには、この協議会において、地元に対する資金の確保といった取り組みが必要であるとの話を受けたので、この方向で話を進めていただきたい。

#### ⑤本の出版について（白川委員より説明）

##### 【承認事項】

- ・ 本の出版へのスケジュールとして、12月頃に第1回の編集委員会を開き、執筆内容、執筆者のリストを作成。来年1月には編集委員会に代表執筆者を加えて第1回執筆会議を開き、来年度中には出版する、という流れが示され、承認された。

##### 【会長意見】

(会長) 環境教育プログラムのテキストとして使ってもらうために必要なので、できるだけ早い出版を目指したい。

#### ⑥今後の維持・管理体制について（事務局より各委員からメーリングリストに出された意見を紹介）

##### 【会長意見】

(会長) まだ意見を回答されていない方、また、今回の協議会の協議結果を踏まえて、意見を醸成された方もおられると思うので、今後も継続して意見交換を進めていきたい。事務局において、引き続き意見を取りまとめていただきたい。

##### 【委員意見】

(委員) 日常管理費として広島県の予算から可能かどうか、5年後10年後の詳細植

生図作成の予算が確保できるのか、地下水位の継続調査の予算が確保できるのか、現在定期的に撮影している空中写真を継続できるのかについて、広島県からの回答をいただきたい。また、水田委員をはじめとした委員の方たちで、現在行っている水生昆虫調査が継続できるかを検討していただきたい。また、整備部会で、今後の維持・管理について具体的にどういった管理が必要であるかをまとめなければいけないというお話があったので、これを少なくとも次回の協議会までにまとめていただきたい。

#### ⑦その他

- ・ 次回協議会は3月15日開催予定とする。
- ・ 12月6～7日で広島発の秋吉台エコツアーが行われる。
- ・ 箱根湿生花園の高橋氏より報告書等を提供していただいたので参考としていただきたい。

#### ○閉会

### 7 会議資料

次第

地元説明会資料

自然再生協議会情報連絡会議（西日本）実施報告及び関係資料

平成21年度八幡湿原自然再生工事について（管理歩道・えん堤）

八幡湿原自然再生協議会ホームページについて（案）

今後の維持・管理体制について（委員意見取りまとめ）

秋吉台エコツアー参加者募集パンフレット

北広島町ふるさと納税パンフレット

### 出席委員一覧表（敬称略）

分野	ふりがな 氏名（※は代理出席）	所属等	備考
専門家(植物)	なかごし のぶかず 中 越 信 和	広島大学教授	会 長
専門家(動物)	みずた くにやす 水 田 國 康	広島虫の会 会長 広島県立大学名誉教授	欠 席
専門家(土木)	のむら よし はる 野 村 吉 春	土木学会 コンサルタント委員 西中国山地自然史研究会	
専門家（環境教育）	しらかわ かつのぶ 白 川 勝 信	高原の自然館（北広島町教育委員会） 主任学芸員	
地元住民代表	こんどう こうじ 近 藤 紘 史	西中国山地自然史研究会 会長	欠 席
	まえ たて お生 前 健 生	八幡地区行政区長会 会長	
公募委員 （個人）	あお き しん 青 木 晋	(株)LAT	
	うえ の よし お雄 上 野 吉 雄	西中国山地自然史研究会会員	欠 席
	おお た み 果 大 田 実 果	ヒョウモンモドキ保護の会	
	かみて しんいち 上 手 新 一	北広島町（旧芸北町）出身	
	たか き しげる 高 木 茂	カキツバタの里づくり実行委員会	欠 席
	たさか もとおみ 田 坂 素 臣	広島県鳥獣保護員	
	なかた たかかず 中 田 隆 一	（財）日本気象協会（元気象庁予報官） NHK広島 気象キャスター	
	まさもと よしただ 正 本 良 忠	みずえ緑地（株） 会長	欠 席
	むねおか やすあき 宗 岡 泰 昭	写真家	欠 席
	やまもと たかよし 山 本 高 義	内外エンジニアリング（株） 広島事業所長	欠 席
	わた なべ その こ子 渡 邊 園 子	西中国山地自然史研究会会員	

（次ページに続く）

分野	ふりがな氏名 (※は代理出席)	所属等	備考
公募委員 (団体・法人)	たかつき あきひこ※ 高月 明彦	特定非営利活動法人 (NPO法人) 海外壮年協力隊 広島支部 副理事	欠席
	かわうち のぶただ 川内 信忠	カキツバタの里づくり実行委員会 会長	
	いしい やすゆき※ 石井 泰行	西条・山と水の環境機構 理事長 (西条酒造組合10社で構成)	
	ふくもと たけし※ 福本 健	特定非営利活動法人 (NPO法人) ちゅうごく環境ネット 理事長	代理 やまさき わたる 山崎 亙
	てらだ たつあき※ 寺田 達明	中電技術コンサルタント(株) 取締役社長	代理 おおたけ くにあき 大竹 邦暁
	すぎむら いさお※ 杉村 功	(社)日本山岳会 広島支部 支部長	代理 いつき たかし 齋 陽
	ちかみつ あきら※ 近光 章	(財)広島県環境保健協会 理事長	代理 わだしゅうじ 和田秀次
	あらかわ じゅんたろう※ 荒川 純太郎	ひろしま人と樹の会 会長	欠席
関係行政機関	かわはら たけし※ 河原 武	環境省 中国四国地方環境事務所 自然再生企画官	欠席
関係地方公共団体	おかもと すずむ 岡本 進	北広島町 副町長	副会長
	もんます としお 門 栞 利 男	北広島町教育委員会教育長	
広島県	もりもと ひろまさ 森本 浩正	芸北地域事務所 農林局長	代理 おかた あきら 岡田 明
	おかべ しげる 岡部 茂	広島県立総合技術研究所 林業技術センター 林業研究部長	欠席
	たにむら きょうすけ 谷村 恭佐	広島県 環境県民局 環境部 自然環境課長	代理 さかい あきら 坂井 章
委員総数 31名中 20名出席			